



#### 四 浦小学校、閉校式を開催

平成 20 年から休校となっていた四浦小学校の閉校が決定し、その閉校式が行われました。

3月15日、平成20年から休校となっていた四浦小学校の閉校記念式典が行われ、地域住民や卒業生など、100人を超える方が参加しました。

この春をもって閉校となった同校は、明治11年に寺子屋式の学校として創立、平成12年に休校となるも平成14年に開校、平成20年に再び休校となるまでの136年の間、883名が卒業しました。

記念式典では松原教育委員長による閉校宣言のあと、同校最後の校長である田之上誠文先生のあいさつや、四浦小学校の思い出を振り返る映像上映などが行われました。その後記念碑の除幕式、思い出を語る会が行われ、四浦校区の藤山忠公民館長は「地域の学校が閉校を迎えたが、これで終わりということではなく、ここから新しい四浦校区がスタートするのだという気持ちで、今後も校区の活動を続けていきたい」と話されました。



#### 日 本農業賞で大賞受賞！日本一！

第44回日本農業賞で志布志市のお鹿児島農業協同組合ピーマン専門部会が大賞を受賞しました。

3月12日、同専門部会をはじめとする関係者の方が、日本農業賞大賞受賞（集団組織の部）の喜びを報告するため、市長を表敬訪問しました。

この賞は、日本農業の確立をめざし、意欲的に経営や技術の改革と発展に取り組み、地域社会の発展に貢献する農業者と営農集団を表彰するものです。

同専門部会は本市のピーマン生産者86戸で構成され、同専門部会とJA、行政等が主体となって設立した農業公社で全国から新規就農者を募り、実地研修を行うなど産地を再興してきたことや、新しい生産技術などに積極的に取り組んできたことが評価されての受賞となりました。

同部会の有野喜代一会長は「関係者が一丸となり取り組んだ産地づくりを評価されて嬉しい。私たちの取組が志布志の地方創生の第一歩と考え、これからも頑張りたい」と受賞の喜びを話されました。



#### 福 祉施設と災害時の協定締結

市内の3つの特別養護老人ホームと災害時における福祉避難所に関する協定を締結しました。

3月20日、社会福祉法人欣生会、社会福祉法人松山やっく会、社会福祉法人隆愛会の3法人と市は福祉避難所に関する協定を締結しました。

これは災害時において要援護者がこれらの施設において日常生活に支障なく避難生活を送ることができることを目的に締結したものです。



#### 無 人ヘリ飛行技術競技大会

県内で活躍する無人ヘリコプターのオペレーターによる飛行技術競技大会が開催されました。

3月13日、市民グラウンドで同大会が開催され、県内のオペレーターが技術を競いました。

これは水稲航空防除作業における無人ヘリコプターの高度や速度、安定性などの操作技術を競うもので、6月末から始まる水稲航空防除シーズンに向け、水稲の安定生産に貢献するものです。



#### 人 命救助で感謝状！

心肺停止状態の男性に的確な救命処置を行ったとして、志布志消防署から感謝状が贈られました。

3月26日、AEDの使用や心臓マッサージにより人命救助に貢献したとして、市内在住の落合悠馬さん（海上保安署勤務）に感謝状が贈られました。

これは3月9日に市内の商業施設で現場に居合わせた落合さんが、心肺停止状態の男性に的確な処置を行い、人命の救助に繋がったというものです。



#### 時 代小説 2,139 冊を寄贈！

志布志市出身で大阪市在住の竹下公一さんから市立図書館に時代小説 2,139 冊を寄贈いただきました。

3月14日、本市出身で、大阪で個人タクシーを営まれる竹下公一さんが、28冊の時代小説の文庫本を市立図書館に寄贈されました。

竹下さんからは「仕事の合間に一読した本で、よかったら」と2009年から現在までに計2,139冊の新品同様の文庫本をお贈りいただいています。